

赤ちゃんのために大切な “妊娠中の歯科健診”

妊娠中、産婦人科や内科で健診を受けることに疑問を持つ方はいらっしゃらないことでしょうが、歯科での歯科健診について、必要性を感じる方はあまりいらっしゃらないのではないかでしょうか? どうしても軽視しがちですよね。実は歯科的なリスクは、生まれてくるお子さんや妊婦さんご自身に大きな影響を及ぼす可能性があるのです。今回は早期に「妊婦歯科健診」を受けることの重要性について説明したいと思います。

歯科医師 小池秀行



はじめに

小池病院の歯科は、前身である小池デンタルクリニックの開院時(2011年)から、「妊婦歯科健診」に取り組みその重要性を訴えてきました。これは福山市が「妊婦歯科健診」を実施し

はじめるよりも以前のこと、その後、福山市では福山市歯科医師会と協力して積極的に「妊婦歯科健診」を行うようになりました。それでもいまだに受診されない妊婦さんもおられ、また出産が近くなつてから受診する方も多いため、より安全な出産とご自身の健康のために、妊娠がわかつたら早めに歯科健診を受けることをおすすめしたいと思います。

妊婦さんと歯周病

妊娠すると女性ホルモンが増加することをご存知でしょうか。歯周病の病原菌はこの女性ホルモンが大好きで、一緒に増えてしまいます。ですから妊娠中は歯周病の病原菌の数がおよそ「5倍」にもなるといった報告もあり、その倍率に驚くことでしょう。さらには、この「5倍」とは健康でキレイな口元の人と比べて5倍ではないということです。普段の自分の口中が、定期健診でしっかりメンテナンスをおこなっている人と比べて病原菌が多いければ、それがさらに5倍になるわけで、実質5倍以上の病原菌が存在するということになってしまいます。自分がすでに歯周病であれば更に悪化することとなり、そうでなかつたとしても歯周病になるリスクが非常に高い

と考えられますので、多くの場合、妊婦さんは歯周病であるとも言えます。

「自分は歯周病じゃないから大丈夫」と思っていませんか?

TV のハミガキの CM などで「日本の成人の8割が歯周病」というセリフを聞いたことはありませんか。さらに「日本歯周病学会」「日本臨床歯周病学会」が刊行した初の公式本『日本人はこうして歯を失っていく 専門医が教える歯周病の怖さと正しい治疗方法』にはさらに恐ろしい数値が記載されています。「日本人の7割以上が歯周病」と書かれています。20歳代の約70%が歯周病で、65歳以上の高齢者になると歯のない人以外はほぼ全員が歯周病だとしています。55歳以上は半数以上に重症化が見られ、20歳代を超えると増加していくと説明しています。

これだけの話を聞いても、「私は毎日歯を磨いているから歯周病じゃない」と思われていませんか? 周囲の人を見渡して虫歯でなくとも定期的に歯科医院でメンテナンスを受けしっかりと歯磨きを行っている人が2~3人思いつくなら、それ以外の人は歯周病の可能性が高いということと同義とも言えるでしょう。あなたはどちら側の人でしょうか? 残念ですが、やはり多くの人は歯周病なのです。

「痛くないから歯周病じゃない」と思っている人も多いようですが、歯周病は病気であつて怪我ではないので痛くないから病気じゃないということにはなりません。

身体の他の病気を考えても「痛くない」と「病気じゃない」は同じではないですね。歯周病を皆さんのが自覚するのには、歯を支える土台である顎の骨の部分が歯周病によって溶かされ、歯ぐきが下がり歯の根っこ部分が露

出したときや、歯が揺れて噛めなくなつたとき、あるいは口臭、出血などではないでしょうか。このような症状が出ると、その歯は抜かなくてはならず、残せない可能性が生じてきます。

日本人が歯を失う一番の原因は、虫歯ではなく歯周病だということも覚えておいてください。



歯周病による
妊婦・胎児が受ける影響

■早産・低体重児出産

歯周病の病原菌は血管を流れる血液によって全身を移動し、妊娠中の子宮に影響を与える場合があります。この影響というのは『早産・低体重児出産』のリスクを上げることです。

「日本臨床歯周病学会」でもこのリスクが約7倍であるとしており、タバコやアルコール、高齢出産などよりもはるかに高い数字であると注意喚起しています。妊娠中にきちんと口内の手入れをしていれば早産や低体重児出産にならないとは言い切れませんが、もし口の手入れをちゃんと行わず、結果として早産・低体重児出産となつたとしたら、後悔されるのではないですか。歯周病によってリスクが増すのであれば、十分な手入れを心がけリスクは抑えておきたいですね。



日本臨床歯周病学会

れば歯周病は悪化しやすく、ちょっとだけ見えている状態だと汚れが入り込みやすく掻き出しにくい状態で、これも同様に悪化しやすいわけです。当然、一番奥にある歯磨きも困難です。通常でも歯周病の悪化しやすい親知らずが、妊娠によって悪化が促進されるとどうなるでしょう? 急激な痛みを伴つて、出産前なのに眠れない痛みに悩まされる可能性もありますし、さらなる歯周病悪化を招いてしまうかもしれません。定期などに予防的な対処をしておきたいところですね。

■口内炎

妊娠により増加した歯周病の病原菌によって歯ぐきなど口の粘膜が攻撃されれば、当然ですが口内炎もできやすく悪化しやすい環境となっています。

■虫歯

つわりや偏食、食事回数や間食の増加など食生活の変化が影響する場合もあり、また、嘔吐で胃液(酸)が逆流してきて歯が溶かされやすくなります。簡単に言えば歯の表面がもろくなり、虫歯が進行しやすい状況になつてしまうのです。嘔吐の後などはそのままにせず、せめてうがいをして口の中の酸の濃度を低下させておくことをおすすめします。

■妊娠性歯周炎・妊娠性エプーリス

どちらも妊娠によって生じやすい歯ぐきの炎症です。後者は良性腫瘍の一種で歯ぐきだけに生じます。



子どもへの具体的な影響

■乳歯や永久歯への影響

お子さんの歯は、実はお腹の中にいる間に乳歯や永久歯が作られ始めています。乳歯のもとになる歯胚と言わ



れるものが顎の中で作られ始めるのが、妊娠7週目頃からで、妊娠4ヵ月頃から硬くなり石灰化が始まり、産まれる頃には生える準備ができています。永久歯も妊娠4～5ヵ月頃から歯胚ができ始め、産まれる頃に石灰化が始まります。ですから、お子さんの歯が丈夫かどうかは、妊娠中のお母さんがバランスのいい食事を摂り、健康であることが大切で、それが乳歯や永久歯に大きく影響していると言えるでしょう。

■感染について

産まれたばかりの赤ちゃんの口の中には虫歯のバイ菌はいませんが、成長する過程で周囲の人から感染していき、口の中に常在菌と呼ばれるものを取り込んでいます。同じ食器、コップ、お箸などを使わないようにしても、お子さんを抱きかかえるなど、近い距離で話しかければ飛沫感染してしまいます。

歯周病や虫歯の治療

妊娠初期や出産直前を避けねば、歯科治療は可能です。出産直前に口が原因で痛くて眠れない妊婦さんや、点滴を打ちながら歯科治療を行わなければならなくなつた妊婦さんを年間に何人も治療することがあり、そのような状態で治療を行うよりは、先ほど述べた「早産や低体重児」のリスクも考えると、安定期（5～9ヵ月頃）を目安に治療をしておくことをおすすめします。



■レントゲンの胎児への影響

レントゲンを不安に思う方もいるかと思います。しかし歯はお腹から場所が離れており、さらに鉛のエプロンをしていたりますので、おなかの赤ちゃんが被曝する量は限りなくゼロに近く、赤ちゃんへの被曝の影響はまったくない等しいことがわかっています。

また、当院の歯科用CTなどのX線撮影装置はデジタル撮影となっており、従来のフィルムタイプに比べて被曝量も少なくなっています。一般的な被曝量は日常生活での1年あたりの日本平均で約1.5mSv（ミリシーベルト）、世界平均で約2.4mSv、東京↔ニューヨーク間航空機で往復が約0.2mSv、さらに医科用CT撮影が約6.9mSvとなり、飲食物からも実は被曝の影響というものはあって、たとえば水を1日に2リットル、1ヵ月間飲むと約0.4mSvです。これに対し歯科では歯科用CTですから、約0.1mSvであることから考えると非常に少量の被曝量なので安心しているだけだと思います。

最近では食事の直後に歯を磨くのはよくないので30分たってから磨きましょう、というのが流行っていますが、これも諸説があります。そもそもはアメ



歯周病に一番効果的なのは歯磨きです！

TVの特集で歯磨きについて取り上げられたりしますが、番組によって言っていることがまちまちです。

最近では食事の直後に歯を磨くのはよくないので30分たってから磨きましょう、というのが流行っていますが、これも諸説があります。そもそもはアメ

■抗生素質や痛み止め

抗生素質であればペニシリン系やセフェム系、鎮痛剤はカルナールなどアセトアミノフェンが安全であることが産婦人科医師の見解で明らかになっています。必要な場合には歯科医や産婦人科医・内科医と相談して、最小限で使うことをおすすめしています。また、当院の歯科では産科でも処方するような、妊娠婦さんが安全に服用できる抗生素質や痛み止めを使用しているので、安心してお飲みください。

歯周病に一番効果的なのは歯磨きです！

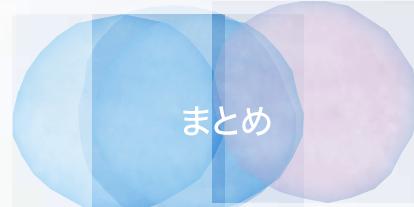
TVの特集で歯磨きについて取り上げられたりしますが、番組によって言っていることがまちまちです。

最近では食事の直後に歯を磨くのはよくないので30分たってから磨きましょう、というのが流行っていますが、これも諸説があります。そもそもはアメ

リカでの研究結果から波及したものですが、アメリカ人と比べて日本人の口の唾液量は少なく、カルシウムも不足気味なので、食後30分の間での再石灰化は不十分だと考えられます。ですから日本人は30分後に歯磨きを行うよりもあまり効果を得られないと言われています。そもそも食後の口の中に残っている酸を含んだ食べ物などが歯の表面に付着している中でどれだけ効果があるのかも疑問視されています。ですから、現状では食後～30分くらいを目安に磨きやすいタイミングで磨けばそれがいいと思います。間違いないのは、バイ菌が活動する前にバイ菌のエサになっている食べ物を取り除いておくことが大事であり、それによってバイ菌の活動を抑制することです。また、食後早い段階での歯磨きは、食べ物の汚れを落とすのに効果的です。食後の皿洗いを考えても早い段階で皿を洗うのと、時間

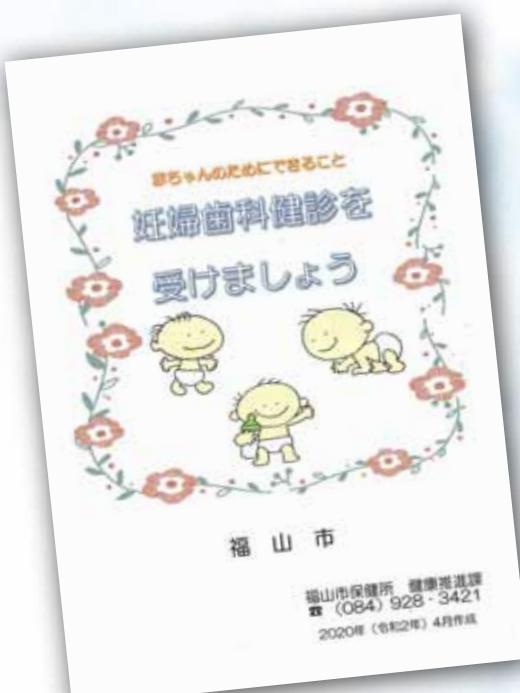
をおいて皿を洗うのは、どちらが簡単にキレイにできるか皆さんも日常の経験上よくご存じのはずです。「食べ物の汚れは、時間がたつと落ちにくい」ということです。ですから早めの歯磨きは優しい力で歯磨きを行っても、十分にキレイにすることができます。そこにデンタルフロス（糸ようじ）などの補助的清掃器具を用いると、さらに効果が高まります。ハミガキはたっぷり付けて、うがいは極力少なめにして、ハミガキの成分の効果を歯や歯ぐきに多く残すようにした方がいいでしょう。歯ブラシの持ち方や力加減は「ぐつ」と握らず、鉛筆を持つように持つてください。その上で優しくマッサージするように当ててください。ストロークはその場で歯ブラシの頭を振動させるように。イメージとしては自分の手が電動歯ブラシであるかのようにすること。詳細は歯ブラシの当てる角度などいろいろありますので、妊婦歯科健診の

際、歯科医に相談されるのが良いと思います。



妊娠がわかつたらなるべく早く健診を受け、歯科医師と相談して口の中の管理を早めに開始することが歯周病の影響を低減させ、口の健康維持と共に早産や低体重児出産のリスク軽減に非常に効果的です。

このようなことを知らない周囲の妊婦さんに、今回の特集内容を読んだ皆さんのがお声かけくだされば、より多くの妊婦さんに安心して出産を迎えていただけると思います。また、妊婦歯科健診に関わる全国の歯科医にとっても出産後の笑顔が増えることは喜ばしいことです。ご協力いただければ幸いです。



福山市妊婦歯科健診（プレママ歯っぴい健診）

対象者：福山市に住所を有する妊婦
料金：無料
実施場所：福山市が委託している実施協力医療機関（要予約）
※当院は実施協力医療機関です。

健診内容：口腔内診査 歯科保健指導

持参するもの：妊婦歯科健診受診票（母子健康手帳別冊） 母子健康手帳 健康保険証
[留意事項] 健診当日は健診のみを行います。治療については歯科医とご相談ください。

「福山市子育て支援サイト」より転載





I ANSWER THEME

あなたは日常の診療を通して、疑問を持ちながら何気なくやり過ごしていることや訊きそびれていることはありませんか？このコーナーでは、患者さまをはじめそのご家族の、診療におけるさまざまな質問や相談に、当院の適任スタッフがお答えするコーナーです。

Question

子どもの「便秘」について
教えてください。
うんちは毎日でないとダメですか？

赤ちゃんやお子さんの「便秘」については、お母さんやご家族からよく小児科でご相談を受ける内容です。

1歳未満の赤ちゃんと、1歳以上の幼児や学童の便秘では対応が違ってきますので、皆さんからのお声をもとに分けてお答えします。

(1歳未満の赤ちゃんの場合)

Q
毎日、肛門刺激(綿棒浣腸)をしないと便が出ないのですが、続けていて大丈夫ですか？

A
赤ちゃんはまだ排便が上手ではないため、便が軟らかく、ちゃんといきんでいるのになかなか便が出せないことがあります。綿棒にワセリンなどの滑りやすい物を塗って肛門を刺激すると助けになることがあります。

ます。肛門刺激をして排便があれば心配ないでしょう。

また、毎日肛門刺激をしても癖にはなりません。成長とともに次第に自力で排便することができるようになっていきます。しかし、肛門刺激をして出た便の量がほんの少量だけで、それが数日続いた場合は十分な排便量ではないこともあります。その時は医師にご相談ください。また、肛門刺激が効果的でできない場合もあるので、気になるようでしたら気軽にお声がけください。

Q
肛門刺激をしても便が何日も出ないので心配です。
どんな時に病院へ行ったらいいですか？

A
毎日おむつ替えをしているお母さんにとつて便の形や色、回数などは気がかりなものです。便は水分が多めでシャバシャバした感じで、硬くてもソフトクリームくらいの硬さです。排便の回数は、生後数週間は1日2～5回あり、その後1日1～2回に落ちるのが一般的です。3ヵ月頃の赤ちゃんで排便回数が減って2～3日に1回ということもあります。そんな時でも機嫌よく哺乳して体重が順調に増えていれば、飲んだ乳が効率よく消化吸収されているので問題はないでしょう。

では、どんな時が問題になるでしょうか。排便回数が週2回以下と少なくなっただけでなく、

- ・便が硬くてうまく排便ができない
- ・肛門が切れて出血する
- ・おなかが張って機嫌が悪い
- ・哺乳量が減った
- ・飲んだミルクを吐く

上記の症状がある場合は病院を受診しましょう。

診察時に便のついたおむつを持参されることがあります。おむつは時間が経つと水分を吸ってしまい便の形状が変わったり、出血も変色があるので、スマートなどで写真を撮って見せていただくと参考になります。

〈1歳以上の幼児・学童編〉

Q
便が出にくい時があるようなのですが、子どもの便秘ってそもそもどんな状態のことをいいますか？
また、治療が必要ですか？

A
便秘とは、便が長い時間出ないか、出にくいうことをいいます。週に3回より少なかつたり、5日以上出なかつたりする日が続けば便秘と考えられます。毎日出でいても、量が少ないので、硬い便しか出ない、出す時に痛がって泣いたり、肛門が切れて血が出るような場合も便秘です。正常な便は、お味噌くらいの硬さでバナナ1本くらいの量ですが、粘土くらいの硬さになると硬めです。腸に便が溜まりすぎると、少量の便が頻繁に漏れ出るようになります。小さい口コロコロの便や、柔らかい便が少しずつ1日に何回も出ている場合も便秘の疑いがあります。

ります。一人でトイレでの排便ができるようになつた後も、お子さんの便の硬さや形状、回数を知っておくようにしましょう。

便秘のために治療が必要な状態を「便秘症」といい、子どもの便秘症は珍しいことではありません。十人に一人くらいか、それ以上と考えられています。トイレットトレーニングの頃や、学校へ通いだした時期に便秘症が始まりやすいといわれています。便秘が原因でトイレットトレーニングがなかなか上手く進まないこともあります。普段は便がよく出ているお子さんが一時的に便秘の状態になつただけの時に、浣腸や薬で便を出してあげれば、また元の良い状態になる場合がほとんどです（一過性便秘）。しかし、便秘が1～2ヶ月以上続いている場合や何度も繰り返す場合は、適切な治療を続ける必要があります（慢性便秘症）。どちらの場合も一人で悩まず、医師にご相談ください。その際、病院で浣腸の処置をすることがあります。おむつを使っているお子さんは、おむつの替えとお尻拭きをご持参ください。

Q
便秘にならない、便秘を繰り返さないためにはどうすればいいですか？

A
生活習慣や排便習慣を見直してみましょう。また、食事の内容にも注意しましょう。すぐに目に見えるような効果が出るものではありませんが、便秘対策としてだけではなく、お子さんの健康にとって良いことですから、実践されることをお勧めします。

●生活習慣を改善しましょう。
・早寝早起きを心がけ、朝食をゆくべましょう。

り摂れるような生活にしましょう。朝食後に大腸の運動は一番活発になります。

・規則正しい生活をしましょう。
・バランスのとれた食事を3食きちんと摂り、決められたおやつの時間以外には間食を避けるようにしましょう。
・からだを動かすことは、腸の運動を活発にして便通を良くするといわれています。軽い運動でよいので、なるべくからだを動かしましょう。

●排便習慣を改善しましょう。

便を腸に溜めないようにすることが大切です。トイレットトレーニングの完了しているお子さんでは、毎日排便しやすい、ゆとりのある時間帯にトイレに座る習慣をつけることはとても良いことです。ただ、無理強いしたり、長い時間かけることは避けてください。もし便が出たら大いに褒めて（喜んで）あげましょう。便意を感じたら、トイレに行くことも大切です。学校でも我慢せずにトイレに行くように指導しましょう。

●食事の内容に注意しましょう。

腸内の便のかさが少ないと、長く便がとどまってしまうことがあります。それを防ぐには食物繊維が効果的です。食物繊維は腸で吸収されず、水分を多く含んで便の量を増やし、硬くなることを防止する効果が期待できます。また、大腸で発酵して腸に刺激を与える効果もあります。野菜・果物・海藻・豆類・イモ類などに多く含まれています。甘い飲み物やお菓子でカロリーを摂っていると、繊維不足になるかもしれませんね。ちゃんと便になるものを食べましょう。

私がお答えしました



小児科 師長 畠中千佳

診療科から

小児科

小児科直通
TEL 084-932-3512



医師 小池美緒
日本小児科学会専門医

変えぬ理想、変わらぬ目標

明けましておめでとうございます。

皆さんは新年を迎えるときに一年の目標や頑張りたいことなどを考えますか？

私は年始めのこの原稿を書くときに仕事についていつも思うことがあります。

この一年、自分が目標としていたことがきちんとできたかなと振り返り、それを踏まえてまた一年頑張ろうと気持ちを引き締めています。

私にはこういう小児科医でありたい、こんな「小児科」をやりたいという理想や目標があります。それは毎年変わるものではなく、この仕事を始めてからずっとと思い続けていることもあります。

その理想はいくつかあるのですが、その中で特に大事にしているのは「病院は怖いところではなく、行くのが楽しみと思えるくらい子どもにとって身近な存在でありたい」、「ご家族が安心して子育てができるようにサポートすること」です。のために日々心がけていることは、できるだけ子どもに話しかけ、話をすることです。そうするうちにだんだん私も施設に慣れてきてくれ、親しみを覚え身近に感じてくれるのではと思っています。また、ご両親やご家族には、診察室でできるだけ話しやすい雰囲気を作ることです。育児で気になること、心配なこと、不安なことがあったときに気軽に相談してもらえるようにすることです。

子どもが風邪を引いたときは、特に心配になることでしょう。その不安を少しでも取り除けるよう、不安が軽くなるよう、今のお子さんの状況、お家で気をつけること、受診のタイミングなど、わかりやすく説明するように心がけています。病院に行ったのに、聞きたいことが聞けずに帰ったということがないように気をつけています。もちろんこれだけでは

ありませんが、そのような思いを日々積み重ねていくことで、皆さんに「受診しやすい小児科」と感じていただけたらいいなと思います。

毎日の診療の中で子どもたちからたくさん元気をもらっています。

診察室に入ってきたら私のところまで駆け寄ってハグをしてくれる子もいれば、「注射は嫌だけど美緒先生のところなら頑張れる」と言って来てくれる子、「咳が出てるから今日は美緒先生のところに薬をもらいに行くよって言ったら、朝からすごく嬉しそうにしていました」と教えてくださるお母さん、皆さんにそう言つていただけることが何よりの励みになっています。この一年もご家族の気持ちに寄り添いながら、子どもたちの成長と笑顔を見守っていきたいと思います。



診療科から

歯科

歯科直通
TEL 084-983-0418



歯科医師 小池秀行
日本補綴歯科学会専門医 歯学博士

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯（義歯）、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とした、学会で認められた歯科医師です。

フッ素で虫歯にならない? —大人にフッ素はしませんね!—

お子さんを歯医者に連れて行き「虫歯予防にフッ素の塗布」を頼んだことのある親御さんもいらっしゃると思います。

フッ素を塗布すると虫歯にならなくなるのでしょうか?フッ素を塗れば虫歯にならないのだとしても、なぜ大人にはフッ素の塗布をしないのでしょうか?

ハミガキのCMでもフッ素で「再石灰化を促進」とか言つていて、正直よくわからないけれど皆さんフッ素が入っているのが歯にいいんだよね?と思われていることでしょう。けれど勧められるのは子どもだけ…、これはいったいどういうことでしょう?



フッ素の塗布を子どもにはすすめて、大人にはしないことを疑問に思われたことはありませんか?これには理由があります。「フッ素はいったい何をしているのか?」をわかりやすくご説明します。フッ素は簡単にイメージするなら「歯がやわらかい状態のとき、それを硬くする手助けをする」といったことをしています。生えたての乳歯や永久歯は、この「やわらかい状態」に相当し、虫歯のバイ菌からの攻撃に弱い状態です。対して大人の場合は歯が生えそろって何年も経つていて「硬い状態」になっています。ですから子どもにフッ素を塗布することは、少しでも早く硬い状態に近づくようにサポートしているといったイメージでとらえると分かりやすいかと思います。歯が硬くなるのが早まるため、結果として虫歯のバイ菌が歯を溶かしにくくなるわけです。逆に言えば大人はすでに歯が硬くなっているためフッ素の塗布は行われないのです。



イラスト:歯科素材.COMより

では、ハミガキにフッ素が含まれるのはなぜでしょう?日常生活の中で飲食等をしていると、たとえば酸性の強い物であれば歯の表面を脆く(やわらかく)してしまう場合もあるでしょう。当然、虫歯のバイ菌によって同様にやわらかくなっている場合もあります。このやわらかくなった状態を、その都度補強(再石灰化)する手助けをするのがハミガキの中のフッ素です。歯医者で塗布するフッ素より濃度が低く効果は弱くありますが、日常のサイクルの中でのサポートとしては問題ありません。

フッ素は歯を固めるサポート以外にも虫歯のバイ菌の活動を抑える効果もありますが、いずれにしても虫歯にならないわけではありません。フッ素を塗布してもらった後も、しっかりと仕上げ磨きをして健康な口元を維持できるようにする必要がありますので頑張りましょう!

TOPICS

トピックス

Happy meal

味も見た目もおいしくなあれ…

大変ご好評をいただいているご出産入院の皆さまのお食事です。

折々の季節を感じていただけるよう、旬の食材を取り入れながら、栄養価やおいしさはもちろん、目でも楽しんでいただけるようにこだわっています。どうぞご堪能ください。



洋朝食（フレンチトースト・スクランブルエッグ 他）



和朝食（鰯の塩麹焼き・卵とじ 他）



昼食（魚田・牛もも肉のステーキ 他）



昼食（ハンバーグ・エビフライコンビプレート 他）



夕食（カニシュウマイ・エビのチリソース 他）



夕食（鰯の幽庵焼き・牛もも肉のステーキわさびソース 他）



おやつ（栗とアーモンドのタルト）



おやつ（クレープ・フルーツ添え）

—キッチンからのコメント—

エグゼクティブラウンジでは、お食事もご出産の想い出になればと、スタッフ一同日々ご提供に努めています。どうぞ、産後のママ同士での楽しいひと時、ゆったりとお過ごしください。

エステサービス

当院からのスペシャルプレゼントとして、お産疲れを癒していただくために“エステサービス”をご提供させていただいています。

エステティシャンによるフェイス&フットのトリートメントで至福のひとときをお過ごしください。

当院4Fの“エスティックサロン”がお待ちしています。



インターネット予約をご利用ください！

産科・婦人科、小児科を受診の方は、インターネットを使った「診療予約システム」をご利用いただけます（歯科は電話予約のみ）。すでにID（診察券番号）をお持ちの方はもちろん、初診の方もご予約いただけますので、ご登録の上、お気軽にご利用ください。

*ご利用方法は当院サイトのトップページをご参照ください。

*ログインはトップページの[インターネット予約]

ボタンから、もしくは

QRコードを読み込み

お願ひします。

自己血輸血

当院では、安全な出産や手術をしていただくために、あらかじめご自分の血液を貯血保存する『自己血輸血』を取り入れています。

わが国は、赤十字血液センターの努力で血液が安定供給されるようになった結果、出血量の多い手術でも比較的安全に行われるようになりました。しかし、血液センターの血液は、自分の血液ではありませんから問題点がなくなったとは言えません。それに比べ『自己血輸血』の場合は当然自分の血液ですから、感染症や拒絶反応を起こすなどの輸血時のトラブルがありません。

医師の判断により、出血量が多いと予想される手術を受けられる方には『自己血輸血』をお勧めしています。

※詳しくは担当医までおたずねください。